MELSEC iQ-R シリーズ CPU ユニットにおける不正ログインの脆弱性

公開日 2021 年 8 月 5 日
三菱電機株式会社

■概要

MELSEC iQ-R シリーズ CPU ユニットには、不十分な認証情報の保護(CWE-522)により、不正ログインの脆弱性が存在することが判明しました。攻撃者は、通信を盗聴し、認証情報を入手することにより、入手した認証情報を用いて、CPU ユニットへ不正にログインできる可能性があります。(CVE-2021-20597)

この脆弱性の影響を受ける製品形名およびファームウェアバージョンを以下に示します。

■CVSS スコア

CVE-2021-20597　CVSS:3.1/AV:N/AC:H/PR:N/UI:N/S:U/C:H/I:H/A:N　基本値:7.4

■該当製品の確認方法

次の製品形名とファームウェアバージョンのものが影響を受けます。

形名	ファームウェアバージョン
R08/16/32/120SFCPU	全バージョン
R08/16/32/120PSFCPU	全バージョン

■脆弱性の説明

MELSEC iQ-R シリーズ CPU ユニットには、不十分な認証情報の保護(CWE-522)による、不正ログインの脆弱性が存在します。

■脆弱性がもたらす脅威

CPU ユニットへのユーザ情報登録時もしくはパスワード変更時に、攻撃者が、通信を盗聴し、認証情報を入手することにより、入手した認証情報を用いて、CPU ユニットへ不正にログインできる可能性があります。

■対策方法

近日中に、本脆弱性に対応したファームウェアを公開する予定です。

■軽減策・回避策

本脆弱性が悪用されることによるリスクを最小限に抑えるため、三菱電機は以下に示す軽減策を講じることを推奨します。

・当該製品をインターネットに接続する場合には、ファイアウォールや仮想プライベートネットワーク(VPN)等を使用し、不正アクセスを防止してください。
・当該製品を LAN 内で使用し、信頼できないネットワークやホストからのアクセスをファイアウォールでブロックしてください。
・IP フィルタ機能※1 を使用し、接続可能な IP アドレスを適切に制限してください。
・ユーザ情報の登録やパスワード変更は、必ず USB 経由で実施してください。また、既にネットワーク経由でユーザ登録やパスワード変更を行ったユーザのパスワードは、1 度 USB 経由で変更してください。

※1:MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編) セキュリティの「IP フィルタ」を参照ください。

■謝辞

この問題をご報告いただいた Nozomi NetworksLabs Ivan Speziale 様に感謝いたします。

■お問い合わせ先

製品をご購入いただいた当社の支社、代理店にご相談ください。

〈お問い合わせ | 三菱電機 FA〉
https://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/support/purchase/index.html